



勝間田小学校

CS通信 第11号

勝間田小学校で第2回学校運営協議会が行われました

日時 令和2年10月14日(水) 10時00分から12時00分まで

場所 勝間田小学校 コミュニティ・ルーム

参加者

校長・教頭・学校運営協議会メンバー(5名)・市教委より2名

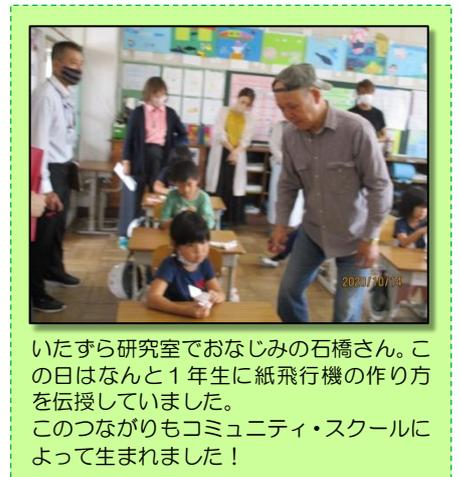


第2回の学校運営協議会は、鈴木CSDの司会進行により、やわらかな雰囲気の中、和やかに幕を開けました。協議に入る前の授業参観。ここでも先導するのは鈴木CSD! 参観者の中から「(教員ではなく)地域の人に学校を案内してもらうなんて初めてだわ!」と感想がこぼれ、「確かにそうだ」と参観者一同納得の様子でした。

コミュニティ・スクールの主体はもちろん学校運営協議会ですが、その前に「学校を知る」「子どもを知る」「教員を知る」ことはとても大切なことですから、授業を参観して子どもたちと先生の楽しいやりとりを心に焼き付けるひとは意味のあるものとなりました。

1年生の教室に入ると、児童のひとりが「あ、スズッキーだ!」と声を出しました。鈴木CSDは(静かにしててね)と照れた表情を浮かべながら、とても幸せそうでした。

教員は毎年行われる人事異動により、ひとつの学校に6年間も在籍することはほとんどありません。「あ、スズッキーだ!」と声を上げた児童が6年生になるころには、ほとんどの教員が勝間田小にはいなくなるのですが、きっと鈴木CSDはその時にもCSディレクターとして勝間田小の子どもたちと楽しい毎日を過ごしていることなのでしょう。いつも変わらぬ地域の方から、子どもたちをあたたかく見守り続けていただけるのは、コミュニティ・スクールの最大の魅力でしょう。



いたずら研究室でおなじみの石橋さん。この日はなんと1年生に紙飛行機の作り方を伝授していました。このつながりもコミュニティ・スクールによって生まれました!



後半の学校運営協議会では、委員のみなさんの「課題意識」に驚かされました。

「戦争体験を伝えたいという地域側からの提案がありました。そういう取り組みも新しいと思うのですが、どうですか。」

「読み聞かせの本をもう少し充実させたいのですが、何とかならないでしょうか。グループに加わってくれる人ももっと集めたいです。」

「プロのパフォーマー(大道芸人)を呼べることになりました。日と場所を設定したので、地域の方も招待できるかまた考えていきましょう。」

それぞれが課題意識をもち、それぞれが何かを進めていこうとする意志をもっていることが感じられるとても心地よい時間でした。

そして委員のみなさんの根底に共通して「学校のため」「地域のため」「子どもたちのため」という思いがあることが何より安心感をもたらしてくれました。

協議会で知恵をしばって考えたことが、周囲のみなさんの賛同を得て、具体的な動きにつながっていくことを強く期待させられる第2回学校運営協議会でした。

